

基山町

# 議会だより

きやま 検索

平成28年 第4回定例会

12月議会

No.60

未来に向かって  
頑張れ基山っ子！

アンケートに回答していただいた  
基山中学校1年生の授業風景

2、3ページ

【特集】

基山町は「住みよい町」ですか

— 小学6年生・中学1年生に聞きました —

平成29年1月31日発行

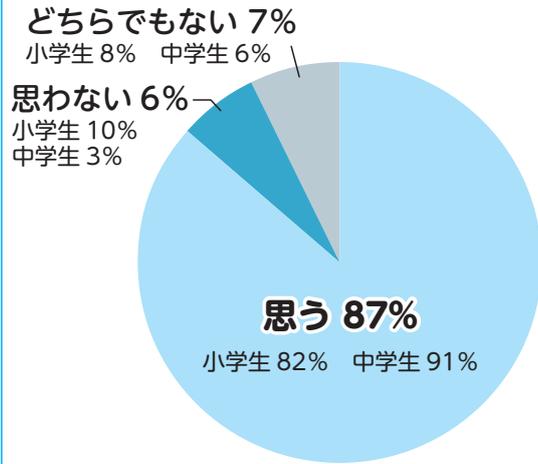
# 基山町は「住みよい町」ですか

— 小学6年生・中学1年生に聞きました —

基山町では第5次総合計画を策定し、まちづくりを行っている。策定までにはワークショップも数回開催されたが、どうしても大人の目線の意見が多いと感じた。これから10年先には、基山の大きな力となる子ども達の思いを聞きたいと考え、基山町議会広報広聴常任委員会において、学校の協力を得て10月下旬～11月初旬にアンケートを実施し、小学6年生137人・中学1年生116人、計253人からの回答を得た。

その結果をまとめてみた。これを契機としてもう一度基山町のまちづくりを議会として見直していきたいと思う。

## 質問1. 基山町は住みよい町ですか？



	小学生 (人)	中学生 (人)	計 (人)
思う	113	106	219
思わない	13	3	16
どっちでもない	11	7	18
計	137	116	253

## 87%が住みよい町と思う！ その理由は？

### 小・中学生どちらからも多かった意見

- ・自然が豊かで空気がきれい。食べ物がおいしい
- ・優しく思いやりのあるまち。町がきれい
- ・災害や事故が少なく安心、安全な町
- ・交通のアクセスが良く便利

### 小学生から多かった意見

- ・静かで暮らしやすい
- ・楽しいイベントが多い

### 中学生から多かった意見

- ・店が多く買い物が便利
- ・集える場所・公共施設が整っている

## 住みよいとこばかりじゃない… その理由は？

- ・買い物をする店（大型店舗）が少ない
- ・けやき台はコンビニも無く不便
- ・公園（遊ぶ場所）が少ない
- ・楽しめる場所（娯楽施設）が無い
- ・良くも悪くもない

この他にもいろんなことを聞きました（3ページへ続く）

## 質問2. 基山町の好きなところは？

### ・人が優しく、自然が豊かな基山！

- ・グラウンド、体育館、図書館など公共施設がある
- ・自分が住んでいる町だから
- ・きやまん、きやまるが好き
- ・有名人の出身地など

## 質問3. 基山町に期待することは？（どんな町になって欲しいか）

### 小・中学生どちらからも多かった意見

- ・歴史や豊かな自然を残して欲しい（現状維持含む）
- ・笑顔であいさつできる思いやりのある町
- ・住みよく、やさしい、活気ある町

小学生から多かった意見	中学生から多かった意見
・犯罪、事故、災害が少なく安心して暮らせる町。平和な町  ・面白くにぎやかな町イベントをたくさんして欲しい	・全国に名前が知れわたり、観光客がたくさん来る町 ・集える場所・公共施設が整っている
	その他の意見  ・基山の名産品を ・創作劇のある町 ・借金がない町

## 質問4. 基山町に言いたいことは？

- ・子ども達が遊べる公園、サッカーなど自由にスポーツができる場所が欲しい
- ・町中に街灯を増やして欲しい
- ・イベントを増やして欲しい、有名人を呼んで！
- ・閉店中の店を開けたり店を増やして欲しい
- ・大きな本屋さんが欲しい ・公衆電話をもっと設置して欲しい
- ・バスケットコート・プールなどの施設が欲しい



### 「未来に向かって 頑張れ基山っ子！」

子ども達から、興味深いたくさん意見をもたらした。ここに掲載されているのは、その一部である。

この子ども達の意見にどう向き合っていくのか、議会としての課題であると感じている。

平成29年10月頃に、中学生との「こども議会」開催に向けての検討もはじめています。

「大人」の目線だけでなく「子ども」の目線も大切に、今後の活動に臨んでいきたいと思う。

ご多忙の中、快くご協力いただいた校長先生をはじめ学校関係者の方々には、大変お世話になりました。感謝申し上げます。

最後に、子ども達へメッセージを贈る。

# 基山町のこれからを考える!!

## 人口増対策・空き家対策を強化

## 定住促進課を新設

### 総務文教常任委員会

#### 第4回定例会 議案審議

#### 課設置条例の一部改正

#### 定住促進係を課として独立

**問**

定住促進の最も重要な点は業務に関わる職員の熱意である。担当者が短期間で変わることによる不安があるが、どう思うか。

**答**

正規職員を増員することには限度があり、任期付職員や地域おこし協力隊等の人員配置も検討していきたい。

**問**

健康福祉課の障がい福祉係に生活保護や民生児童委員が組み入れられ、係の名称と業務内容に町民が戸惑うのではないか。

**答**

今後は、町民への配慮等検討したい。

#### 一般会計補正予算

3億8127万円追加し  
総額67億2088万円  
ふるさと応援寄附金5億円超え

用途を明確にして寄附者や町民に納得してもらうことが重要。

#### 移住体験リノベモデル住宅



▲準備中のリノベモデル住宅

**問**

今後のスケジュールは。

**答**

公募型プロポーザルによる企画提案を受け、業務委託業者を決定し実施していく。

**問**

6月議会で既に1400万円の予算を組み、今回は下水道接続費用として200万円の補正予算だが運用規則、移住体験等全体計画が不明である。

**答**

2件のリノベモデル住宅の改築を進めている。備品等は平成29年度予算で組みたい。具体的運用については平成29年2月までには策定したい。

※移住体験リノベモデル住宅とは

町内の中古住宅等を改築し、移住体験していただく施設。

#### メールマガジンシステム利用料

#### 利用の中立性を保て

**問**

メールマガジン配信を職員が共有できるようにしておくべきではないか。メールマガジン配信に関しては運用規則等を定めることを求める。

**答**

個人的な見解に傾くことがないようにしていきたいが、懸念を抱かれないように運用規則等を検討したい。

#### ※メールマガジンとは

電子メールを利用して発行者が登録者に定期的に情報を届けるシステムのこと。

#### 第1回臨時会 議案審議

#### 一般会計補正予算

4億7012万円追加

#### 基山小・若基小の全普通教室にエアコン設置

**問**

工事の完了はいつか。

**答**

平成29年7月までには完了予定。

**問**

工事予定のない特別教室のエアコン設置はどうなるのか。

**答**

設置は必要だと思いが、財政面も考慮しなければならず、設置時期については明確に言えない。

#### 基山中学校校舎大規模改造

基山中学校の老朽化した校舎の屋根・外壁、教室床及びトイレの改修を行う。工事はトイレルが平成29年9月、その他が平成29年12月完了予定。



▲安心安全快適な環境で子ども達の教育を!

対象者に分かりやすい説明を!!

# 子ども医療費助成が、償還払い（町へ申請）から現物給付へ

## 厚生産業常任委員会

### 第4回定例会 議案審議

**農業委員会の定数を、新設の農地利用最適化推進委員を含め14人に**

**問**

農業委員会の定数条例が、どう制定されるのか。

**答**

現在の農業委員の定数13人を2人減らして11人とし、新たに農地利用最適化推進委員を3人新設して農業委員会の定数を14人とする。また農業委員の選出が、公選制から町長が議会の同意を得て任命する方法に変更された。

**問**

新設される農地利用最適化推進委員とは。

**答**

「農地等の利用の最適化の推進」が農業委員会の義務業務として位置づけられ、推進委員は農業委員と連携しながら農地の最適化活動などを行う。

**子どもの医療費助成が、まずは、県内の医療機関で現物給付となる**

**問**

どのような改正なのか。

**答**

小学生以上の子どもの医療費助成が、県内の医療機関で受診した場合、現物給付となり、役場への申請が不要となる。当該対象者には受給資格者証を発行する。平成29年4月1日から施行となる。

**会田地区の鳥栖市上下水道接続を議決**

**問**

なぜ、鳥栖市の上下水道接続なのか。

**答**

会田地区の開発事務を鳥栖市と協議する中で、鳥栖市の上下水道が会田地区に近接して敷設されていることから、今後は正式に鳥栖市水道事業により給水を行う。下水道は、鳥栖市公共下水道に処理を委託する。

**国民健康保険特別会計補正予算 保険税収納対策事業 1590万円**

**問**

交付額増加の要因は。

**答**

当初予算では平成27年度の保険税収納率を95.75%で見込んでいたが、実績値は96.52%と収納率が上昇したことにより交付額が増加し、予算総額3240万円となる。

### 第1回臨時会 議案審議

**一般会計補正予算 暗渠排水工事費1691万円**

**問**

前年度は、全額国からの補助による事業であったが、なぜ今回は町費からも支出をしているのか。

**答**

この事業は、国の定額補助(18万円/10a)によるもので、前年度は定額補助の範囲内で実施できた。本年度は、当初予算分と補正予算分の2工期分を実施しており、実施地区の状況から工法を変更したことなどにより、国の定額補助の範囲内で収まらなかった。事業全体の公平性を保つため、不足額については町費でまかなう。

なう。

なお、今回の補正予算分では業は終了する。

個人の財産に町費を入れることから、小麦等の裏作にも力を入れて、収入増につながる取組となるよう要望した。

**本桜・城の上線道路改良工事 2987万円**

**問**

工事完了の予定はいつか。

**答**

道路工事、ブロック積工のり面工の擁壁工事などを経て、平成29年度の完了を目指している。ただし、水路については、雨季までに補強をする。

**問**

空地の利用はどうなるか。

**答**

空地は、道路工事が終わるころ、下水道を3年計画で敷設して、宅地としての利用を考えている。



▲JR弥生が丘駅に隣接する会田地区



▲再利用はどうする、ため池埋立て地

# 全議案および賛否表

## 全会一致で可決・同意した議案

平成28年第1回臨時会

議案番号	議案名
議案42	平成28年度一般会計補正予算（第3号）

## 平成28年第4回定例会（12月議会）

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案43	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例の制定について	議案54	子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正について
議案44	農業委員会委員候補者選考委員会設置条例の制定について	議案55	国民健康保険条例の一部改正について
議案45	課設置条例の一部改正について	同意6	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
議案46	職員定数条例の一部改正について	同意7	農業委員会の委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とするにつき同意を求めることについて
議案47	町立図書館協議会設置条例の一部改正について	議案56	鳥栖市水道事業施設の使用に関する鳥栖市との協議について
議案48	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	議案57	基山町と鳥栖市との公共下水道事業に係る事務の委託に関する規約の変更について
議案49	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	議案58	平成28年度一般会計補正予算（第4号）
議案50	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例及び職員の給与に関する条例の一部改正について	議案59	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案51	町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	議案60	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案52	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部改正について	議案61	平成28年度下水道事業会計補正予算（第3号）
議案53	税条例等の一部改正について		

## 賛否が分かれた議案 ○賛成 ●反対 議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名	賛否表											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		松石健児	大久保由美子	末次明	栗野久明	久保山義明	牧園綾子	木村照夫	河野保久	重松一徳	大山勝代	品川義則	松石信男
発議1	議場における国旗及び町旗の掲揚に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●

## 議長交際費執行状況表（平成28年度10月～12月）

支出種別	支出金額（円）	支出の相手方及び行事名等	
接 遇	9,000	10/17～19	総務文教常任委員会視察研修土産
接 遇	12,000	11/8～10	厚生産業常任委員会視察研修土産
合計件数（件）	合計額（円）	累計件数（件）	累計額（円）
2	21,000	5	35,294

# 一般質問

# 12人が町政を問う

(傍聴者のべ81人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町の場合は、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はYouTube(ユーチューブ)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。



町議会ホームページ

<http://www.town.kiyama.lg.jp/site/gikai/>

## 問 まちづくり基本条例の改正は

答 審議会答申を尊重し行わない



牧園 綾子 議員

協働のまちづくりを今  
後どう進めるのか

問 協働のまちを目指す  
上で、問題点はどのよう  
なことがあるか。

答 行政の見える化を行  
いながら、町民一人ひと  
りがまちづくりへ参加で  
きる環境づくりを行う必  
要がある。

問 基山町まちづくり基  
本条例を推進し、どう結  
束できるまちを創出して  
いくのか、具体例を。

答 第3区では、自主防  
災組織を立ち上げ自主避  
難訓練を行っている。第  
7区及びげやき台地区で  
は、地域での見守り活動  
を強化するための認知症  
声かけ訓練を実施した。

問 まちづくり基本条例  
の改正に向けた審議会での  
検討は進んでいるのか。

答 平成27年中に議論の  
のち、平成28年3月に答  
申書が提出された。3つ  
の項目について条例の運  
用上の提言を受け、改善  
に向け対応を行っている。



▲住民参加の認知症声かけ訓練の様子

問 小中学校における外国  
語教育について

問 国際教育の推進は、

どういう状況で進んで  
いるのか。

答 平成30年度からス  
タートする小学校英語科  
に向け、小学校教諭の中  
学校英語科の免許取得の  
研修等を実施し、町内の  
小中学生に対し英語検定  
の受験費用補助を行う。

問 小学校5・6年生の  
外国語活動の定着につい  
てどう評価しているか。

答 当初と比べ教職員へ  
の研修が充実し教師の指  
導力は向上した。ALT  
による外国語活動の実施  
で、児童の外国語活動に  
対する意識も高まってき  
ている。

問 中学校学習指導要領  
で、外国語の授業時間が  
約3割増へ充実された。  
従前の指導と何か変わっ  
たか。

答 読む・書くを重視し  
た指導から、聞く・話す  
を加えた4技能の balan  
スが取れた指導へ改善さ  
れ、取扱う単語の数が増  
加した。

**問** 河川清掃、現行どおりに働きかけを  
**答** 再度、佐賀県の方に申入れたい



重松 一徳議員

**答** 佐賀県と河川愛護協会が委託契約を結ぶという点では収益事業になる。

**問** 年2回(春・秋)河川清掃(除草・焼却)をされている区は。

**答** 1区から9区と11区の10行政区が基山町河川愛護協会を組織され、佐賀県(東部土木事務所)と委託契約を結ばれて実施されている。

**問** 基山町はどのような立場か。

**答** 県と町の直接的な契約等はない。庶務の一部の手伝いをしている。

**問** 現在の業務委託請負単価はいくらか。

**答** 年2回行うので1mあたり76・7円になっている。

**問** 河川清掃は収益事業か。それとも協働事業か。



▲協働で行う河川清掃

**問** 収益事業ならだれが収益を得ているのか。

**答** 河川清掃されている区や地区になる。

**問** 収益事業ならだれが収益を得ているのか。

**答** 河川清掃されている区や地区になる。

**問** その収益金は区の運営費や地区の活動費になり、個人に配布されているわけではない。区や地区の協働事業として、住民が参加しているのではないのか。

**答** 区では原則年1回の作業に対して委託料が払われている。現在、年2回は鳥栖三養基地区の自治会のみになっている。基山町としては現行どおり年2回の契約継続をお願いしている。

**答** そういう点では協働事業と認識する。

**問** 来年度から、現行の年2回を1回にしようかと佐賀県から言われていると聞かすが、どうなるのか。

**問** もし年1回になった場合、どのような影響が出るかと推測されるか。

**答** 一番の問題は区の収入が減り、区費が高くなること。景観が保てるのか等がある。また安心安全を守るのが町の責務であり、再度佐賀県への申入れを行いたい。

**その他の質問**

**行政組織から自治会組織へ**

現行の行政組織の良いところは残しつつ、町と区が対等な関係になるように検討するように要望した。

**問** 町民会館・体育施設の管理運営は  
**答** 指定管理者で適切になされている



河野 保久議員

時間前の鍵の貸与等の意見があり、28年度当初から改善。今年度においては特段のものはない。

**問** 指定管理者が変わって2年8カ月が経過した現状の管理運営に対する所感は。

**答** 利用者の方々に満足してもらえよう、指定管理者及び担当課による毎月開催の会議において報告・協議しており、適切な管理運営がなされているものと認識している。

**問** 町として、指定管理者に一番強く要望していることは。

**答** 安全な維持管理運営、利用者数の向上、自主事業の充実を要望している。

**問** 町民会館の管理運営に関して、町民から意見・提言・要望等は。

**答** 27年度に定期利用団体との予約の調整、予約



▲大ホールの稼働率アップを

**問** 体育施設について

**答** 27年度に町営球場・多目的運動場のスコアボードの修繕、シャワーボイラーの修繕、トレーニングマシンの更新があり、同年度中に対応完了。今年度においては、特段のものはない。

**問** 今後の両施設の管理運営について、どのように考えているか。

**答** 両施設とも、老朽化

に伴う様々な更新が予想される。安全で良好な管理のため、必要な設備等については計画的に実施したい。平成31年度には全国高等学校総合文化祭、35年度には国体の開催も予定されている。今以上に文化・スポーツの事業にも力を入れていく。



▲トレーニングマシンも更新済み

**基山町の文化祭は**

**問** 文化祭の現況は。

**答** 今年度は「写真コンテスト」等新しい試みも行い、多くの方々に出演・来館していただき、盛り上がった文化祭になったと思っている。

**問** より参加型の文化祭にする考えはないか。

**答** 頑張っている方がもっと頑張れるようにまごう応援する。子どもの参加は、将来の文化振興のためにも検討する。

## 問 いじめは何件あるか

答 基山小2件、基山中4件

松石 信男 議員



▲基山中学校

る。 じる人権侵害、暴力である。

問 「いじめ」をどのような方法で把握しているのか。

答 教師がおかしいと感じた場合の声かけ、児童生徒や保護者の相談、いじめアンケートの実施をしている。

先生の12%が「過労死ライン」

問 「いじめ」の早期発見は、先生の役割。しかし現状は「過労死ライン」とされている残業月80時間以上の先生が12%以上だ。多忙な中で「いじめのサインを見逃さない」と言えるのか。

答 大丈夫だとは思っていない。「いじめ」の問題はどんなに多忙でも対処している。複数の教師の目で子どもたちを見てい

問 「いじめ」をどう考えるのか。

答 人間の尊厳を踏み

問 青森の中学校で起きた「いじめ自殺」、福島原発事故で避難した生徒への「ばい菌扱いいじめ」には心が痛む。いじめを止めることは私たちの責任だ。基山町ではどうか。

答 平成27年度基山小・中学校で6件。

る。

問 「いじめ」の早期発見には、先生が「子どもと向き合う時間の保障」こそが必要。そのために多忙解消の手立には取っているのか。

答 いま、小・中学校では定時退勤日を作ったり、管理職が率先して呼びかけている。若干は短くなっているが、多忙の解消は難しいというのが実情だ。

問 学校いじめ対策委員会と基山町いじめ問題対策委員会は開催されているのか。

答 基山小では2週間に1度、若基小は1カ月に1度、基山中では毎週実施している。基山町いじめ問題対策委員会は「重大事態」の発生が無いので開催していない。

問 いじめ防止は「何よりも子どもの命が一番大事」という姿勢が必要だ。答 基山町いじめ問題対策委員会で見解交換も必要と思う。

## 問 期間内年平均投資額は

答 1年あたり10億円となっている

松石 健児 議員



問 基山町公共施設等総合管理計画期間内（2016～2045年）の総額と内訳は。

答 投資的経費（既存更新分及び新規整備分）の総額は、30年間で307億7000万円。年平均投資総額は、1年あたり10億円。その年平均投資内訳は、公共施設が6億4000万円、道路が2億6000万円、橋梁が6000万円、都市公園が4000万円となっている。下水道整備費については、全体計画の見直しを計画しており、盛り込んでいない。

問 公共施設の除去、集約化・複合化、転用事業等に係る政府の地方財政措置適用を受ける予定の施設はあるか。

答 第5次基山町総合計画では、1万8000人の人口を目標としており、現段階で余剰施設となる見込みはないため、近々に除去、集約化等を検討する施設はない。

問 本年度、国の補正予算で計上された地方創生拠点整備交付金の運用に關する基山町の事業計画はあるか。

答 基山町では既存の「基山町老人憩の家」を町民総活躍のまちづくりのために、高齢者や障がいのある方、子ども・子育て世代等の多世代が交流できる拠点として改築整備することとして交付金を申請したいと考えている。

問 2024年には基金残高（貯金）が不足。どうなる財政計画 2025年度までの

各年度別一般会計の基金残高、町債残高、公債費の推移はどうか。

答 本年度策定した中期財政計画では、2016年度の年度末基金残高が21億8500万円、年度末町債残高が60億4000万円、公債費が6億1300万円、2020年度が基金7億5900万円、町債62億7000万円、公債費5億8500万円、2025年度が基金△2億円、町債1300万円、公債費5億1000万円となっている。（詳細は左記参照）。

### ▼一般会計の基金残高、町債残高、公債費の推移

単位：百万円

年度	2016	2017	2018	2019	2020
基金残高	2,185	1,943	1,618	1,199	759
町債残高	6,044	5,946	6,144	6,157	6,207
公債費	613	596	584	604	585
年度	2021	2022	2023	2024	2025
基金残高	365	238	97	△41	△200
町債残高	6,115	5,935	5,885	5,991	6,113
公債費	563	556	538	519	510

**問** 基山町の農林業の課題は農家だけのものか  
**答** 基山町全体の課題である



末次 明議員

**問** 農家の後継者づくりに真剣に取り組み。対策は。

**答** 後継者不足は喫緊の課題である。農家だけの問題ではなく、農地の保全がされないことによる災害の発生やイノシシ等の獣害被害の拡大による生活安全の問題、集落の衰退など多方面に影響が出る。町全体で取り組む。

**問** 耕作放棄地が増加しているが危機感をもって取り組め。基山町のイメージダウンにつながる最重要事項である。

**答** 近隣農家での貸借にも限界が来ている。今年設置した基山農業活性化協議会等で農家と共に目標をもって取り組む。

**問** 本年度の税制改正により遊休農地の課税が強化される。主旨と基山町の対応はどうか。

**答** 遊休農地の課税強化は農地法に基づき農業委員会が農地所有者に対し、農地中間管理機構との協議を勧告した農振地内の遊休地を対象として採られる措置。この協議勧告を行う場合は、機構への貸付の意思を表明せず、耕作再開も行われないうち、放置している場合に限定して実施。いまのところ基山町で課税強化される農地はないと考えている。

**問** 一人の育成は基山のまちづくりの根幹

**問** 人口の減少に対し世帯数は増えている。どのように分析し、まちづくり

**答** 単身世帯の転入が要因だ。子育て・若者世帯等の人口増に繋がる施策でまちづくりに取り組む。

**問** 人口減少、高齢化で財源確保が課題。町が提供するサービスとのバランスは。そして見直しは。

**答** 将来に向け行政サービスの安定的な提供を図り健全財政を継続していくには、歳入増策と経費削減や重点配分による歳出削減策を同時に行う。

**問** 職員の他団体との人事交流。評価と計画は。

**答** 派遣を受けた職員は高い職務意識や仕事の手法を周囲に伝えている。派遣した職員も大きな成果が出ている。今後も実施していく。



▲基山産の新鮮野菜

**問** 個別受信機の公共施設への設置は  
**答** 有効な情報伝達手段として、検討したい



大久保由美子議員

防災対策について

**問** 聞き取りにくい防災行政無線の解消に、個別受信機を公共施設に、また一般家庭には購入補助制度で設置の考えはないのか。

**答** 解消策として、防災行政無線が鳴った時に、電話で確認できるシステムの導入に向けて検討している。その後、情報伝達手段を整備していく中で検討したい。

**問** 緊急指定避難施設の総合体育館と武道場の天井など、耐震化はされているのか。

**答** 建物の耐震は確保されているが、天井パネルや照明などの耐震性は、調査検討する。

7%、若基小90%、基山中81・8%。

**問** 5歳未満へのフッ化物塗布は実施されているが、5歳児の取組はどうなっているのか。

**答** 5歳児の集団塗布はしていない。今後、調査して実施に向けて検討したい。

**問** 保育園幼稚園でフッ化物洗口をされていたが、取りやめた理由は何か。

**答** 平成17年度に取りやめた。幼児期に実施することで誤飲などの恐れや、町の人的対応が難しくなったため。

**問** 県内19市町の保育園幼稚園でフッ化物洗口を実施しているが、基山町だけ実施していない。再度見直しはできないのか。

**答** 取りやめた経緯も含めて調査する。

フッ化物塗布の取組は

**問** 小・中学校でのフッ化物洗口の取組状況は。

**答** 毎週1回、朝の時間に実施しており、実施率は基山小91・



▲フッ化物洗口の様子

## 問 暗渠排水事業の展開は

答 基盤整備がされていない水田は対象外



木村 照夫 議員

問 町内の暗渠排水事業の進捗状況は。

答 国の農業基盤整備促進事業で取り組んでいる暗渠排水事業は、平成26年度要望を取りまとめた約27haを昨年度から取り組んでいる。国の内示額から約半数の13・7haを行い、本年度残りの13・3haを実施する。

問 基盤整備事業が未実施地域の暗渠排水事業はできないのか。

答 国の補助事業を活用する場合、農業基盤整備を実施した農地を対象としている。基盤整備がされていない水田は対象にはならない。しかし、基盤整備未実施の水田であっても、暗渠排水事業による排水状況の改善をしなければ、ますます耕作条件が悪化し借り手もつかず、耕作放棄地化する。

基山町の条件に合うような仕組みができないか。国・県へ要望していく。なお、町には「農業生産基盤整備事業」があり、国・県の補助対象とならないものを前提に暗渠排水事業を対象としている。

新教育長制度移行について

問 新教育長制度に伴う教育長の抱負は。

答 現代の知識基盤社会にあつて、これからの社会を生き抜いていく子どもたちに欠かせないのは、知識の習得である。そのために一人ひとりの子どもたちにしっかりとした学力をつけていきたい。教育委員会の会議において、ただ単に教育長の考えや、事務局の提案を承認する会議にならないよう、委員会で活発な議論をし、合議制で教育行政を進めていくという本来の目的を逸脱しないように努めていきたい。

問 総合教育会議によって、首長が教育行政の方針を定めることになるのか。

答 首長と教育委員会で構成する総合教育会議において、教育行政の重点的に講ずべき施策等について協議、調整をすることにより、両者が教育政策の方向性を共有したうえで、一致して執行にあたる。なお、「教育大綱」は、町の教育の目標や施策の根本的な方針として、首長が策定することになる。

問 今後の課題は何か。

答 町長とのあるべき関係も教育委員会の課題に対する取組がスムーズに進むように、日頃から連絡を密にし、重大な問題は町長と協議し迅速に対応することが重要だと思



▲排水不良で耕起できない水田

## 問 避難者カード標準化の提案を

答 県内の首長会議で提案する



久保山義明 議員

問 町内で「避難指示」が発令される可能性がある災害とは何か。

答 避難指示は、災害の前兆現象や人的被害の危険性が非常に高いと判断した場合に発令されるが、台風等の土砂災害や浸水が想定される。

問 町では地域的、地盤的に大災害は起こりにくいという風潮がないか。

答 避難勧告、避難指示は過去にないが、土砂災害や氾濫はある。躊躇せずに発令する判断を行う。

問 国の指針で要配慮者へのきめ細かな支援が必要とされる避難者カードの作成は。

答 作成は行っており、今後検討していく。

問 避難者カードは、自治体で内容にバラツキがある。広域災害時に標準化が求められる。県への提案を。

答 現在、県の首長会議で原子力発電所の議題を話している。広域災害を想定し、この会議で提案したい。

問 法改正による個別計画の策定状況は。

答 策定していない。直轄管理河川において整備が進められているため、今後検討していく。

問 大規模災害時における業務継続計画(BCP)の策定状況は。

答 早急に取り組む必要があると考えている。

問 業務継続計画で柱となる首長不在時の代行順位、庁舎機能不全時の代替庁舎の特定、災害時優先電話の確保、行政のデータバックアップ体制は。

答 代行順位は決裁順位で、代替庁舎は今後検討する。災害時優先電話は衛星電話で、データバックアップ体制は前日までのデータを確保している。

問 自主防災組織はまちづくり基金ではなく、まちづくり計画として地区防災計画を。

答 計画だけでなく、まず実践行動をしていただくために、行政としても支援する。



▲行政区単位での防災計画も視野に

## 問

街路樹の維持管理は中長期で管理計画を

答 町民の合意を得ながら進める



栗野 久明 議員

街路樹の本来の目的は何か。今後どう管理するのか

問 維持管理費の財源はどうか

答 けやき台では平成25年度までは一般財源とけやき台緑地維持管理基金の充当により支出してきた。平成26年度以降は、基金の枯渇により一般財源のみの支出となっている。

問 住宅地沿線の街路樹は様々な問題を抱えている。問題解決のために何を行っているか。

答 幾多の方法で情報が入り、確認した後、対処方法を検討し、業務委託などで対応している。

ように進めていきたい。

町長の地元意見交換会の成果は

問 意見交換会の成果と現在の所感。また、来年度の開催はあるのか。

答 大きく育った街路樹は、成長と共に様々な問題を起こしている。今後、老木となり、倒木など新たな問題も起こると想定される。それでも、今の対処方法のみの管理を続けるのか。

問 今のところ現状の管理で行っていくつもりである。必要に応じて、より効率的・効果的な管理を行いたいと考えている。

問 町の財源が縮小する中では民意を問いなから、間引きなどによる本数の削減や若木・低木への植え替え等、中長期的な街路樹の維持管理の計画が必要ではないか。

答 町民のいろいろな意見に対し、どのようにコンセンサスを取っていくのが大事である。行政としても将来的には削減を考えていかなければならない事でもあり、その



▲歩道ブロックのせり上がり

問 高齢者の運転免許証自主返納に優遇制度を。

答 既存の割引制度などと連携し、自主返納を考えるきっかけとなる取組を検討する。

## 問

ウォーキングルートに公衆トイレ設置は

答 基肄城水門跡周辺に検討



品川 義則 議員

問 基山町ウォーキングルートに公衆トイレは9カ所で充分か。

答 基肄城水門跡周辺に設置の要望があり検討中。まちなか公民館のトイレも使えるが、更に使いやすいトイレにしていく。

問 障がい者や高齢者等に使いやすいユニバーサルデザイントイレとはどんなものなのか。

答 スロープで段差がなく、出入り口開閉が容易な構造で、車いす等に対応した手洗い器や移動の動線が確保され、移動空間と手すりを設置、便器洗浄ボタンの操作が簡単でセンサー式などになるものである。



▲ユニバーサルデザイントイレへの早期改修を

問 10カ所ある都市公園でユニバーサルデザイントイレはあるのか。

答 中央公園、若宮公園の2カ所に設置している。

問 基山駅など公共性の高い場所のトイレをユニバーサルデザイントイレに改修できないのか。

答 基山駅にあるトイレはJRの敷地内で改修に必要なスペースが取れない。

問 JRと相談して検討するべきではないか。

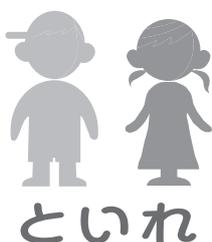
答 そういうことも含めて研究する。

問 町は次世代型電動車いす「WILL」を3台使い高齢者に買い物等を楽しんでもらおうという取組をしているが、多目的な機能を備えたトイレは必要なのではないか。

答 今後研究していく。

問 街なかにトイレなどを誘導する案内看板がないが、JRウォーキングなど、多くの観光客の利便性を高めるために、商店など事業所にトイレ活用の協力を求めているが。

答 商工会に相談して検討していく。



といれ

▲案内看板を活用しては

**問** 本桜・伊勢前線の歩道の延伸を  
答 状況を把握して検討する

大山 勝代 議員



**問** 交通量の多い町道本桜・伊勢前線は住宅側に歩道がある所とない所がある。歩行者が安心して歩くために歩道を延伸できないか。

**答** 交通量・歩行者数の調査等を総合的に判断して、検討したい。



▲「ここに歩道があれば安全だけど」

**問** 10区と13区の境にある「ちびっこ広場」をもっと使用し易いように改善

**答** 硬い岩盤があるので、それを除去するのは困難だ。雨が降って水がたまるのは排水できるようにしたい。

**問** 公衆トイレの設置ができないか。

**答** ちびっこ広場は都市公園ではなく児童遊園としての位置づけなので、利用者が限定されるためトイレの設置は困難だ。

**高齢者にやさしい町としての施策を**

**問** 高齢者福祉について町長の目玉となる施策は何かがあるか。

**答** 介護予防・日常生活支援総合事業を近隣市町より1年早く平成29年4月から実施する。また、介護予防教室の参加・総合健診の受診等ポイントが加算され、商工会の商品券と交換できる「健康ポイント」事業を検討。

**問** 「地域包括ケアシステム」については住民の理解がまだ進んでいないが。

**答** 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしが送り続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を確保するシステム。その実施のために地域包括支援センターが調整機関となり、重要な役割を担う。

**問** 基山町は要介護認定者の比率が15・49%で鳥栖広域平均の16・86%より低い。

**答** 元気な高齢者が多いと言える。

**問** その元気な高齢者への福祉施策は何かあるか。

**答** スロージョギング教室・筋力アップ教室などを開催している。

**問** コミュニティバス的大幅な補助やタクシー券・小都あすてらすポイント券・トレーニンングセンター券など考えられないか。

**答** 高齢者福祉の1つとして総合的に検討が必要。

**意見書等の結果**

基山町の公益に関する事柄について国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	内容	結果
意見書	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	地方分権時代を迎えた今日、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなり、地方議会議員の積極的な活動が求められている。よって、議員を志す新たな人材確保につなげるため、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。	採択 (全員賛成)
	参議院議員選挙制度における合区の解消を求める意見書	単純な人口割のみでの選挙区割りでは、地方からの選出議員が減少することは明らかであり、結果、地方の声が参議院を通じて国政に反映されにくくなり、さらなる地方と都市部との格差を生むことになると思われる。 我が国が直面する急激な人口減少問題への対応を含め、この国のあり方を考えていく上でも、多様な地方の意見が、国政の中にしっかりと反映されていく必要があることは言うまでもない。 よって、少なくとも各県1名の参議院議員を選出できるよう、合区を早急に解消する措置が講じられるよう強く求める。	採択 (賛成多数)
	南スーダンからの自衛隊の撤退を求める意見書	事実上の内戦状態にある南スーダンで、いかに閣議決定で集団的自衛権を認めた結果としても、憲法9条の2項の「戦力の不保持」規定は生きている。「殺し殺される」事態は完全に憲法違反であり、そうした事態を見過ごすわけにはいかない。 よって、新任務を付与した自衛隊の南スーダンからの撤退を強く求めるものである。	不採択 (賛成少数)
陳情	玄海原発事故への備えとして安定ヨウ素剤の町民への事前配布を求める陳情書	玄海原発において重大事故が起きた時に、放射性物質から住民の命を守る最低限の備えとして、安定ヨウ素剤を全ての住民に対して事前配布できるように、国、県、町に働きかけること。	全議員に配布 (平成28年8月30日配付)

# 定住・移住促進に向けた施策で成果が出ている点を中心に

総務文教常任委員会

平成28年10月17日～19日視察

## 「かわもと暮らし情報センター」の取組

島根県川本町

平成27年9月にオープンしてから、移住・定住の総合相談窓口として、役場、自治会、各団体などと連携し、情報提供やあらゆる相談に対応している。そのために情報を統合し、ワンストップ窓口として、交流・移住・定住人口の増加に向けた取組を効果的に進めている。また、それを担当する相談員（移住プランナー）を、4～5年かけて育てる体制で人口増に取り組んでおり、平成27年度は、社会増で51名の増加があった。

## 「小規模多機能自治」について

島根県雲南市

平成16年に6市町が合併して誕生した市で、面積が553・2km<sup>2</sup>と広域となった背景もある。それまでの公民館ごとの活動を、名称を交流センターと変えて、市からの指定管理業務委託料などにより、地元の問題は地元で解決しようとして取り組んでいる。この地域自主組織は、地域づくり担当職員による企画や指導、支援を受けて、安心生活



▲駅前に設置されたワンストップ窓口

見守り事業、買い物物支援事業、笑んがわ市事業などを行っている。

## 「お試し暮らし住宅」

島根県飯南町

田舎暮らしを考えている人が気軽にそこでの暮らし体験ができるように、家電や寝具等をそろえた住宅で6泊6千円から最大一か月まで利用することができる。平成26年度から平成28年度の実績では、19組が利用し、そのうち4組が定住に繋がっている。

# 愛情ある子育て支援策を念頭に情報発信は効率的に

厚生産業常任委員会

平成28年11月8日～9日視察

## ハッピー子育てメール

茨城県茨城町

子育て世帯を対象とした情報発信事業。胎児・乳幼児の成長や発達にあわせたメールを配信することで、妊娠・出産・子育ての不安を軽減し、産後うつや乳幼児虐待の予防に努める。妊娠期と生後100日までは1日1回、1歳までは3日に1回、その後3歳まで。メール配信なので携帯端末でいつでも読み返すことができ、利便性が高い。また、町で実施する子育て支援関連行事の案内等も配信し、参加増に努めている。その他、町長からの誕生日メッセージ配信も行っている。

## 役場庁舎内に在る子育てひろば

埼玉県宮代町

年末年始のみ休みという子育てひろばは、役場庁舎内の福祉課子育て推進担当係と隣接している。親子教室、子育て相談他、従来から行っている役場窓口での各種手続きや給付制度等の相談なども、子育てコンシェルジュ（総合世話係）を配置し一元化されている。子育て支援事業の連携や情報交換がス



▲宮代町 子育てひろば 1歳児教室

ムーズに行われているのが特徴的だ。

## 妊娠期から高齢期まで一貫した地域ケアを目指す

埼玉県神川町

保健センターには8人の保健師が常勤しており、母子保健事業では、ベビーバス貸し出し、赤ちゃん訪問、マタニティデンタルチェック、離乳食実習などを行っている。特徴的なのは、婦人会を中心に組織された母子愛育会185人が各事業支援を行っており、事業開催時の託児から月2回のふれあい広場を運営する等、子育て運営の一翼を担っている。

# 公的介護保険制度について

厚生産業常任委員会

## 所管事務調査

公的介護保険制度の現状と今後の役割について鳥栖地区広域市町村圏組合より説明を受けた。

75歳以上の高齢者数の急速な増加に対処するために、国は平成27年度に介護保険法を改正、平成29年度に実施される介護保険サービスの体系変更によって、要支援1・2の訪問型サービスを構成市町が主体となってボランティアを中心とした体系で行うことになるとの説明を受けた。

当委員会としては、町に対して、介護保険法改正による介護保険サービスの低下がないようにすることと、認知症対策の周知を鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険課と協議して行うように要望した。

# 防災体制について

総務文教常任委員会

## 所管事務調査

防災システムの整備状況で、防災行政無線については、11月13日の秋季防火訓練終了後に聞き取り調査をし、聞こえない箇所があれば対応を検討していく。平成29年度には、防災行政無線システム、個別受信機等の導入を検討するとの説明があった。

また、役場庁舎4階倉庫で備蓄している町人口の5%、最低1日分の非常食2,670食の保管状況を確認した。そして非常食の処分期限が近づいている水と乾パンの試食を行った。

また、小学校・中学校にも災害の備蓄品として配布する予定との事である。

## 平成29年 第1回基山町議会定例会会期日程(案)

3																	月				
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	日	曜日	議事内容
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月			
本会議	委員会	委員会	委員会	休会	休会	休会	委員会	本会議 委員会	委員会	委員会	委員会	休会	休会	休会	本会議	本会議	本会議	本会議			
予算特別委員長報告・討論採決	予算特別委員会調整	予算特別委員会	予算特別委員会				予算特別委員会	各常任委員長報告・討論採決 委員会	各常任委員会調整	厚生産業常任委員会	総務文教常任委員会				一般質問・議案審議・委員会付託	一般質問	一般質問	特別委員会設置	会期決定・提案理由説明等・予算		

## 編集後記

平成28年にはいろいろなことがあった。

2月には松田町政がスタートした。4月には熊本・大分地方で2度にわたる震度7の地震が発生し、多くの方々が被災された。8月のリオ・オリンピック・パラリンピックの日本人選手の活躍は、まだ記憶に新しいところである。

12月11日の「ふれあいフェスタ」では、住民の手による創作劇「ホテル列車」が、小・中学生だけでなく大人まで巻き込んだ多世代の方々の参加により初回公演が行われた。基山での演劇文化が継承されたこと、うれしく感じている。

平成29年は、基山にとって私達にとって、どんな年になるのだろうか。町の未来は、私達町民が「基山を元氣な活気あふれる町」にしていく為、どれだけ心をひとつにしていけるかにかかっていると思う。平成29年が、基山町及び町民にとって輝ける一年になることを祈念してやまない。

(河野)

## 広報広聴常任委員会

- |      |        |    |        |
|------|--------|----|--------|
| 委員長  | 久保山 義明 | 委員 | 牧園 綾子  |
| 副委員長 | 松石 健児  | 委員 | 末次 明   |
| 委員   | 河野 保久  | 委員 | 大久保由美子 |

### 第4回町議会と語ろう会開催

11月18日（金）、町民会館2階小ホールにて第4回の「町議会と語ろう会（議会報告会）」を開催しました。まず、総務文教常任委員会、厚生産業常任委員会、議会改革特別委員会の各委員長より報告が行われ、引き続き6グループに分かれワークショップ形式による意見交換会を行い、38人の参加者から活発な意見が出されました。もっと多くの町民の方が参加できるよう今後も工夫してまいります。御参加くださった皆様、ありがとうございました。

### 参加者から出された質問・意見

#### 【まちづくり・人口対策関連】

- ・若基小の児童数減に伴う課題を地域で考える場が必要だ。
- ・基山町は交通アクセスも良いのに、何故基山町の人口はもっと増えないのか。とても住みやすい町だから、その魅力をもっとPRしてほしい。
- ・若い女性が住みやすい環境づくりが必要。子育て中の母親が働ける雇用の確保。若者が働きやすい企業や農業環境が必要。
- ・調整区域での農業の作り手が減少しているので、緩和して住宅が建てられるようにしては。



▲町への熱い思いを聞くことができました

#### 【道路・公共施設・生活環境関連】

- ・基山町の民間を含めた施設の情報が少ない。
- ・基山駅周辺、モール商店街、役場跡地など、中心地の活性化に力を入れる。
- ・サービス機能付高齢者住宅への転居等について、けやき台居住者へのアンケート調査は行ったが、町全体で同様の意向調査は進んでいるのか。



#### 【教育・子育て・高齢者対策関連】

- ・子どもが病気の場合、一時的に預けられる場所を病院等に作れないか。
- ・介護予防は当事者だけでなく、家族の協力が必要。その情報発信ができないか。
- ・引きこもりや発達障がい等の子ども達が安心して過ごせるスペースの設置を。



▲多くの方のご参加ありがとうございました

#### 【財政関連】

- ・今後の一般会計の基金は大丈夫か。財源の改善策の見込みはあるのか。今後、特に社会保障、医療、福祉の財源は確保できるのか。

#### 【議会関連】

- ・議員定数を削減し、減じた財源で議員報酬を上げて若い議員が立候補できるような改革はできないか。
- ・一般質問で町からの「検討」の回答案件を、議会はその後追求しているか。経過を伝えよ。

※町への要望は、執行部にしっかり伝えます。

※詳しい参加者の意見と議会側の回答及びアンケートは、ホームページに掲載いたします。